



アートがまちに広がり日常を彩る 架空のスーパーマーケット！ 「黄金町バザール 2018 - フライング・スーパーマーケット」

【プレスツアーを実施します！】

NPO 法人黄金町エリアマネジメントセンターでは、9月21日（金）からアートフェスティバル「黄金町バザール 2018」を開幕するにあたり、**初日 14 時より報道関係者のみなさまに向けたプレスツアーを実施**します。

ディレクターがコンセプトについてお話するほか、キュレーターが主要な展示会場と参加アーティストをご紹介します。

ぜひこの機会にご取材いただきますようお願いいたします。



スピーク・クリプティック 黄金町での制作風景

1. 黄金町バザール 2018 プレスツアー概要

(1) プレスツアー日時

2018年9月21日（金） 14時から15時30分まで

(2) 会場

高架下スタジオ Site-D 集会場（横浜市中区黄金町1-2番地先）

(3) 内容

14：00～ プレスツアー開始（13：45受付開始）

これまでの黄金町バザールと本展の特徴について（山野真悟／ディレクター）

14：30～ 展示会場案内（水谷朋代・内海潤也／キュレトリアル・チーム）

15：30 終了予定

(4) お申込み

ご参加いただける場合は、前日9月20日（木）までに、別添のお申込み用紙を使用しメールまたはFAXでお申込みいただくか、黄金町バザール 2018 特設サイト上の申込みフォームからお申込みいただくようお願いいたします。

黄金町バザール 2018 - フライング・スーパーマーケット開催概要

会期 | 平成30年9月21日（金）～10月28日（日）※月曜日休場（月曜祝日の場合は翌火曜日休場）

開催時間 | 11:00～18:30 ※10月6日（土）、7日（日）、26日（金）、27日（土）は11:00～20:00

展示会場 | 京急線「日ノ出町駅」から「黄金町駅」間の高架下スタジオ、周辺のスタジオ、地域の店舗、屋外空地、他

入場料 | 会期中有効のパスポート700円 [販売期間：9月21日～10月28日] ※高校生以下無料

主催 | 認定NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会

共催 | 横浜市

特設ウェブサイト | <http://www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2018/>

3～4頁では、黄金町バザール 2018 特別プログラム「黄金町のアートを紹介する」の詳細を新たに発表しております

2. プログラムについて

横浜・黄金町エリアの「まち」を舞台に開催するアートフェスティバル。7ヶ国 17組のアーティストが滞在制作で新作を発表する「メインプログラム」、黄金町のアートシーンを紹介する「特別プログラム」、そしてアートの多彩な楽しみ方を提案する「イベント」の3本柱で開催します。

メインプログラム 〈今回のバザールのために作られる作品たち〉

安里横 + 許田盛哉 + etc. / 安部泰輔 / 大野光一 / 近あづき / 谷耀介 / 葉栗翠 + イクタケマコト / 人見紗操 / メランカオリ / RED Profile (嶋山文香) / 山本アンディ彩果 / エスクリ / インスタント・コーヒー / キム・ミファ / イ・スンハ / スピーク・クリプティック / フイ・ティエン・ムイエン / 蔡坤霖 (ツイ・クエンリン) + 山田哲平 + 林子皓 (リン・ズハオ)

◆まちに点在する作品

カナダを拠点とするアーティスト集団「インスタント・コーヒー」と、シンガポールのグラフィティ・アーティストであるスピーク・クリプティックは、建物の壁面や大岡川など、まちの様々な場所で壁画作品などを制作します。



インスタント・コーヒー《Perpetual Sunset / Say Nothing in Bright Colours》2012年



スピーク・クリプティック、シビック・ディストリクト・アウトドア・フェスティバル「Hemera's Feast」のための彫刻、2017年

◆まちの音を活かした作品

フィリピンの若手アーティストであるエスクリは、地域特有の音を抽出し、フィールド・レコーディングの手法で作品を制作します。台湾のアーティスト蔡坤霖は、音や映像、動力を使ったアプローチを行う日本のアーティスト山田哲平と、音の研究者である林子皓の協力を得て、大岡川の水音を使った作品を制作します。



エスクリ、フィリピン・バギオでのパフォーマンス《Space intervention》の様子、2016年、Photo by Jem Calija



蔡坤霖 (ツイ・クエンリン) 《The sound of discovery》2017年

◆窓越しに見る作品

谷耀介は、スタジオのウィンドウを銭湯に見立て、アニメーションを使ったインスタレーションを制作します。

レディースファッションブランド「RED Profile」を主宰する嶋山文香は、黄金町バザールのためのコレクションを制作し、展示します。

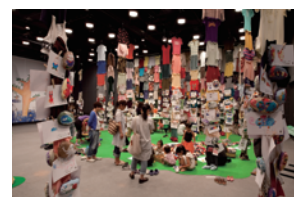


谷耀介、黄金町バザール 2018《虚金湯》のためのドロイング、2018年

◆参加型の作品

2008年、2010年、2011年に続き、黄金町バザール 2018に参加する安部泰輔は、参加者が描いた絵を元にぬいぐるみを作ります。

黄金町 AIR アーティストである葉栗翠 + イクタケマコトは、黄金町エリアで活動する団体やアーティストのシンボルをTシャツにプリントした作品を展示・販売します。



安部泰輔、ワークショップ「ふしぎの森の美術館」展示風景、2010年

特別プログラム 「黄金町のアートを紹介する」 〈地域の空気が育んだ“地産”芸術〉

当 NPO が管理する高架下沿いの施設には、およそ 50 組のアーティストがスタジオを構え、日常的に制作を行っています。

本プログラムでは、(1) 11 年間このまちを見てきたディレクターが指揮するグループ展、(2) 黄金町の特徴の一つである工芸作品のアーティストたちによるグループ展、(3) 国際交流事業の成果展、(4) 黄金町産というブランドを通じた交わりと循環を目指す made in Koganecho、(5) 黄金町のアーティストによる子どもたちとのワークショップといった 5 つの企画を通して、黄金町で育まれるアートを紹介します。



黄金町のアーティストのグッズも販売する本屋「黄金町アートブックバザール」

(1) グループ展 「pass by: 動くものと動かないもの」

黄金町のアーティスト 7 人を紹介するグループ展。タイトルの pass by は作品を見る人たちの「通り過ぎる」という行動をヒントに、「展覧会を見ること」の意識化を試みました。

[会場] 黄金スタジオ、八番館 URA シアター

[参加アーティスト] 栗原亜也子、土居大記、平山好哉、三輪恭子、安田拓郎、吉田ゆう、吉本直紀



土居大記《Salt》2018、黄金町アーティスト・イン・レジデンスプログラム成果展での展示風景

(2) グループ展 「黄金町のアートと工芸」

黄金町では、木工、金工、陶芸、ファッション、イラストなど、さまざまな領域で活躍するアーティストが活動しています。「黄金町のアートと工芸」展では、領域横断的な交流の中で育まれる黄金町のアートの一端を紹介します。

[会場] 横浜にぎわい座（横浜市中区野毛町 3-110-1）

10:00～22:00 ※10月17日（水）・18日（木）休館

[参加アーティスト] さかもとゆり、さんにな工房、竹本真紀、ぶち木工、山本貴美子、楊珪宋

[主催] 横浜にぎわい座、認定 NPO 法人黄金町エリアマネジメントセンター



ぶち木工



山本貴美子



さかもとゆり

(3) 黄金町 × 福利社 国際交流事業 〈社交町⇄町交社〉「ゴールドリフレクションタウン」展

国際交流事業として今年6月に台湾を拠点とする9人のアーティストを紹介した「島上の群島(とうじょうてきぐんとう)」を黄金町で、7月には黄金町のアーティストを紹介する「黄金反射町 nwoT noitcelfeR dloG」を台北の福利社で開催しました。今回の黄金町バザールでは、台北での展示を「ゴールドリフレクションタウン」展として再構成し発表します。

[会場] 山本アパート

[参加アーティスト] 小畑祐也、土居大記、葉栗翠、人見紗操、ユ・ソンジュン、楊珪宋



福利社(台湾)で開催した「黄金反射町 nwoT noitcelfeR dloG」展オープニングの様子

(4) made in Koganecho

2017年よりスタートした「made in Koganecho」。黄金町のアーティストの成果物を黄金町産というブランドとしてエリア外へ発信し、展示等を通して販売へとつなげていくプロジェクトです。今回の黄金町バザールでは、アートのまち黄金町の商品やグッズを販売、宣伝する総合的な施設として日ノ出スタジオをオープンします。

[会場] gallery made in Koganecho (日ノ出スタジオ内)



gallery made in Koganecho 会場風景

(5) 都市をスケールから解放するワークショップ

当NPOでは、子どもの創造力を発揮する機会創出にも取り組んでいます。

本ワークショップでは、「自分自身にとって重要な場所(の名前)」から「将来行きたい場所(の名前)」までを、その方向を示す矢印とともに子どもたちに描いてもらい、まちの中に展示します。都市のスケールを地理的制約から解放する矢印は、会期中もワークショップによって増殖していきます。

*ワークショップの日程や参加方法に関しては特設サイトの「イベント」をご覧ください。

[会場] 黄金町エリアマネジメントセンター(※)、銅板、旭橋

[参加アーティスト] 金子未弥



※今回の黄金町バザール開催前を目処に、黄金町エリアマネジメントセンターの事務所を高架下スタジオ Site-B (上写真) へ移転予定です。

イベント 〈アートの楽しみ方を広げる“スパイス”〉

アートの楽しみ方にスパイスを加えるガイドツアーや、参加アーティストによる臨場感あふれるパフォーマンス、ワークショップや音楽イベント、野外映画上映、リニューアルした「のきさきアートフェア」など、多彩なイベントを開催します。

◆ガイドツアー

ディレクター及びキュレーターが、展示会場を一緒にめぐりながら作品についてわかりやすくご案内します。

日程：会期中の毎週土曜 15:00～

◆のきさきアートフェア

2014年から開催している食とアートのイベント。

今回は、高架下の軒先だけではなく大岡川沿いまで会場を広げ、黄金町バザール 2018 と合わせて大規模に開催します。

日程：2018年10月7日（日）11:00～15:00

◆ナイトバザール（夜間開館）

夜 20 時まで開場時間を延長します。昼間とはちがった顔を見せる作品やまちの雰囲気をお楽しみいただけます。

日程：2018年10月6日（土）、7日（日）、26日（金）、27日（土）

他にもアーティストトークやワークショップなどイベントを多数開催予定です。内容が決定次第、ウェブサイトを通じてお知らせしていきます。

<http://www.koganecho.net/koganecho-bazaar-2018/>



3. 会場について

展示エリアを拡大し、黄金町を“超えて”展開

これまでの黄金町バザールは、初音町、黄金町、日ノ出町を合わせた通称「初黄・日ノ出町地区」で開催されてきました。今回の黄金町バザールは、近隣まで展示エリアを拡大し、計 32 ヶ所の会場を設けます。

